

環境

ひろば 国分寺

発行 国分寺市環境ひろば
国 分 寺 市

第204号 令和7年12月21日

1月の環境ひろば

森林環境譲与税



【第251回環境ひろば】（当日直接会場へ）

日時：令和8年1月18日(日) 会場：会議室201(市役所2階)

第二小学校 総合学習『環境ボランティア活動』の授業を行いました

4年生30名を対象に10月の学習支援、12月の発表会に参加しました。

テーマは環境保全ボランティア活動で、姿見の池緑地での活動を中心に、国分寺市の「緑のボランティア制度」について、全体を紹介しました。

学習会後には、全員から、捉えた内容を含め、感謝のお手紙を頂きました。

発表会は、5グループが、子ども達が調べ、学習の範囲を広げ、深堀した内容

が、映像をもって手際よく発表され、驚きの連続でした。「生物多様性という言葉を知っていますか？」の問いには、約半数が挙手し、子ども達への認知度が浸透していることが伺えました。また、グループの発表内容が、想像力の發揮に満ちていることに驚きました。中でも、生物多様性確保の観点から欠かせない“水”や外来種の害、絶滅危惧種までも取り上げたグループもあり、限りなく思考を広げる子ども達に、思わずほほ笑みました。



(環境ひろば会員 白木昭憲)

【11月の環境ひろば フリートーク「姿見の池の昔、今、これから】

令和7年11月16日(日)の環境ひろば全体会では、「姿見の池の昔、今、これから」をテーマにフリートークを行いました。冒頭、会員の鈴木まき子さんから映像と資料にもとづいて情報提供がありました。

映像では整備後間もないころの姿見の池の全景や植物、鳥(カルガモの親子、ダイサギとアオサギ、カワセミ・・・)たちが紹介されました。

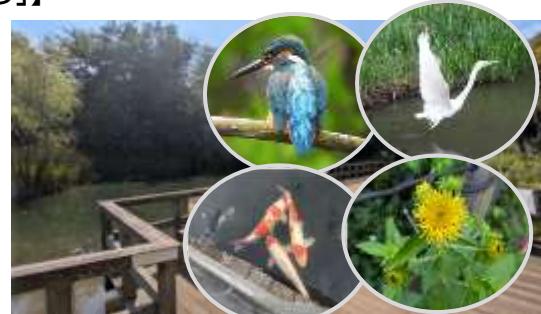
資料では、この付近は恋ヶ窪谷の谷筋にあたり、湧水も存在、江戸時代以降は玉川上水からの分水(恋ヶ窪村分水・田用水・1657年開削)も引かれ、稻作も行われていました。

ところが1960年代(昭和30年代)には、急速な都市化の中で田んぼもなくなり、現在池のあるあたりは埋め立てられ資材置き場になっていました。その後、1993年(平成5年)東京都が付近を「姿見の池緑地保全地域」に指定し、公有化しました。国分寺市も隣接地を公有化し、1998~1999年(平成10~11年)都有地、市有地を合わせたエリアを池の復元も含めて現在の形に整備されたことなどが紹介されました。

これを受けた環境ひろば会員からは以下のような情報や意見が出されました。

- ・当初の水源は既設の井戸 2 か所、2002年(平成14年)からは JR 武蔵野線トンネル内の地下水をポンプアップ導水している。(最大日量3000t) 池の面積650m²、水深 50cm、水量 300t
- ・日景山や池周辺の湿地、樹林地は東京都、池、水路、遊歩道などは市が保有しているが、市保有部分は予算面の制約もあってか、池のシート劣化や水路河床の傷み、池の水質など課題が多い。
- ・池のシートなど、森林環境譲与税を財源に補修することはできないのか、活用されると良いと思う。
- ・池の水草が少ない原因は大型の鯉による食害の可能性が高い。池は浅いえに泥が相当たまっている。これを鯉が巻き上げるので濁りがひどい。一度かいぼりをする必要があるのではないか。鯉対策をはじめ専門家の助言、市民参加の仕組みが必要だと考える。ちなみに東京都の保有部分については、都の肝いりで維持管理団体(姿見の池緑の会)が組成され、市民参加による管理が実現している。植生調査や“里山へ GO !”など親子で参加のイベントも行われている。
- ・市民活動団体によるホタルの自生の取組はうまくいかなかったが、観察できる生物も多く、これからも市から現状報告を行い、市民を交えた意見交換の場を設けることが望ましいと考える。
- ・姿見の池は見どころも多く、市外からの観光客誘致にもつながると思うが、真姿の池に比べ知名度が低い。情報の発信が重要だと思う。
- ・姿見の池は野川の重要な水源でもあり、水遊びができる場所もある貴重な自然環境だと思う。
- ・池の改善方法によって自然への影響が出るため、明確な最終目標と市民団体の継続的活動が必要だろう。
- ・真姿の池と比べると見劣りするため、関係者全体で改善に取り組む必要がある。

(環境ひろば会員 龍神 瑞穂)



写真：鈴木 まき子（環境ひろば会員）

環境ひろばのお知らせ

1月18日(日)午前10時~正午 市役所 会議室201(泉町2-2-18)

『環境ひろば』は、環境(保全、回復、創造)について市民・事業者・市が自由に意見交換を行う場です。皆さんのご参加をお待ちしています。

(あとがき)

姿見の池も整備後 20 年以上が経過、水路や池のシートの傷み、大きくなり過ぎた鯉や外来種への対応など課題も少なくありません。市民の憩いの場所であり、環境学習や生物多様性の保全上も貴重な姿見の池。保全や活用についてみんなで知恵を出しましょう。(龍神)

国分寺市環境ひろば

事務局

国分寺市 まちづくり部 環境経営課

〒185-8501 国分寺市泉町 2-2-18 市役所3階

TEL:042-312-8663(直通)

FAX:042-325-1380

Eメール:kankyoukeiei@city.kokubunji.tokyo.jp